

天文学の扉を開こう

11月の夜空

【エウロパ】

太陽系最大の惑星「木星」には月ぐらいの大きさの衛星が4つあり、ガリレオが発見したので、まとめて「ガリレオ衛星」と呼ばれています。木星に近い順に、イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストの名がついています。イオを除く3つの衛星は、分厚い氷に閉ざされた世界ではありますが、さまざまな観測をもとに、その内部に水をたたえているかもしれない、つまり内部の海「内部海」があるかもしれないと考えられています。

先日、このうちエウロパの南極に間欠泉が発見され、生命が存在する可能性があるとして米国のNASAが発表しました。「重大発表がある」と事前予告された発表なのですが、間欠泉が見つかったことがどうして生命に結びつくのでしょうか。

その理由は、土星の衛星エンケラドスでの発見にあります。

エンケラドスは直径500kmほどの球形の衛星で、その表面は太陽系の天体の中で最も白いといわれています。エウロパなどと同じく分厚い氷に閉ざされた世界ですが、約40kmの厚さの氷の下には、内部海があることがわかっています。

エンケラドスの南極には100個以上の間欠泉が見つかっていて、塩分を含んだ水蒸気が噴き出しています。このことや探査機の軌道のぶれから内部海の存在が確かめられるとともに、有機物の検出や内部海の底に熱水噴出孔がある証拠が見つかったことから、その周囲の海底に生命が存在しているかもしれないと考えられています。

エウロパに発見された間欠泉は、このエンケラドスの状況を連想させるものです。有機物があるらしいことが推定されているので、生命誕生に必要な3条件のうちの水(海)と有機物という2つが備わっていることとなります。残るはエネルギー源ですが、エウロパにも熱水噴出孔がある可能性が高いと考えられています。それが確認できれば、生命が現在も存在するという可能性がでてくるのです。

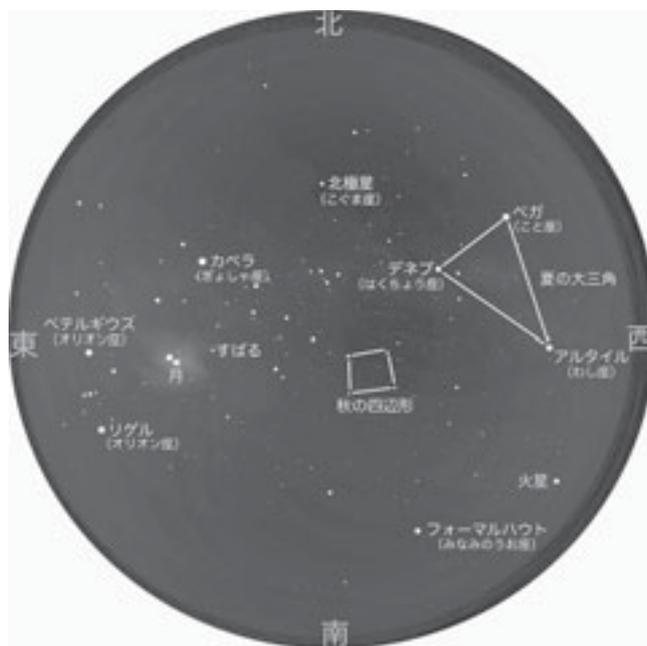
「重大発表」とされたのはこのためなのでしょう。現在をともに生きている生命が地球以外にいるかもしれないのですから。

11月のぐんま天文台のイベント

- ・5日(土) 星空さんぽ
- ・13日(日) はじめての望遠鏡教室(要予約)
天文入門講座 天文ABC(要予約)
- ・19日(土) 双眼鏡で天体を探そう
- ・20日(日) 連続講演会「系外惑星を探る」③
- ・25日(金) 星舞う故郷たかやま星空観望会
- ・26日(土)、27日(日) 天文学校(要予約)

○星図の説明

11月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります。(「月」を除く。)



リトル
ミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品



からさわ かえで くん
イギリスと南アフリカの国旗を描きました。



まにわ みう ちゃん
運動会のパラバルーンの絵を描きました。

わが家の

アイドル



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(*^_^*) ☎26-7944(直通)



新田 田村菜々美ちゃん(2歳)

私の名前は「ななみ」です。
今のまま変わらず、元気で優しい子に育って欲しいとママの好きな「菜の花」からとって名付けてもらいました。
ママの作ってくれる「わかめおにぎり」と「鳥のからあげ」が大好きでいっぱい食べちゃいます！
いつも、お人形のメルちゃんでおままごとをしたり、庭のブランコに乗って遊ぶのが楽しいよ！今度は三輪車をこげるようになりたいな～。
もう少し大きくなったら、お兄ちゃんやお友達と一緒に自転車に乗りたいです！



原 阿部蓮太郎くん(2歳)

僕の名前は「れんたろう」です。
誰からも愛され、親しまれるような男の子になってほしいと両親に名付けてもらいました。
ばーばと一緒にフォークリフトに乗って牛さんにお水やったり、じーじのローダーに乗って遊ぶのがとっても楽しいんだよ！それに、おじーちゃん(ひいおじいさん)とおばーちゃん(ひいおばあさん)と一緒に遊ぶのが大好きで、いつも夢中になって、お外で寝ちゃう時もあるんだよ。
★元気で健やかに、動物や植物にやさしい子になってね！とお母さん。

こちら「7代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！第23期緑のふるさと協力隊の増田雄太です。

11月に入り、高山村での初めての秋を肌で感じていきます。

こんなにも自然に囲まれた空間で生活したことはないの
で、高山村の景色一つ一つをとても新鮮に感じています。

10月は田んぼアートの稲刈りから始まり、大量のサツマイモの収穫や大きく育ったコンニャク芋の収穫など季節を感じる経験をさせていただきました。

特に、今まで精米された白米しかほとんど目にしていなかったのが、黄金色の

稲が田んぼで生きている姿は、非常に印象的でした。また、山のように積みあがっているサツマイモも、初めて見たので驚きました。

これから冬に近づいて行き、再び高山村が、周りの大自然が、大きく変化していくのはとても楽しみです。高山村の寒さにも気をつけて、これからも活動を頑張りたいと思います。

そして、来年の田んぼアートがどんな絵になるのかも、今からワクワクしています。(笑)



緑のふるさと協力隊ブログ「高山てくてく」 <http://life-takayama.hatenablog.jp/>